

- ・南丹市は、空き家バンクの所有者登録と利用登録とのミスマッチ（平成29年3月末現在：所有者登録数26件、利用登録数：143件）の要因として、登録を働きかける主体と所有者との信頼関係、空き家内の家財道具等の存在、思い出が残る空き家を手放せない等の感情面などの課題を確認。
- ・市は空き家を資源として定住促進及び地域振興に活用するために、平成29年度から所有者等にとって信頼のある行政区や地域団体による空き家の掘り起こしや家財道具撤去等の掃除支援、市による写真アルバム等の思い出保存の3事業を柱とした「空き家流動対策事業」に取り組む。

## ■南丹市空き家流通促進事業の概要

（実績は平成29年度末現在）

事業項目	事業主体	事業内容	対象経費	実績
①空き家掘り起こし事業	行政区又は地域団体※	・事業主体の働きかけにより、所有者等が空き家バンクへの登録に同意し、空き家バンクに新規登録した場合、その活動に対する報奨金を支給	・新規登録1物件につき3万円支給	15件
		・上記の働きかけにより空き家バンクに登録された空き家が新規に活用された場合、その活動に対する報奨金を支給	・新規活用物件につき2万円支給	9件
②空き家掃除お助け事業	行政区又は地域団体※	・空き家バンクに登録された空き家又は新規活用が見込まれる空き家について、事業主体が所有者等の同意を得たうえで、空き家の家財道具撤去等の作業を行う場合、作業経費の一部を補助	・作業で生じる廃棄物処分費（バケツト代）の全額補助 ・上限20万円/件	9件
③空き家思い出事業	市	・空き家バンクに登録した所有者等が当該空き家の思い出を残すための写真アルバムを市が制作し、所有者等に贈呈 ※A4サイズ・両面カラー印刷・6ページで、合計8カットを上限	・写真アルバムの制作及び贈呈に要する経費を市が負担	1件

※地域団体：行政区等により構成され、地域に根ざした活動を行う団体で、地域の実情に精通し、移住者の受け入れや移住後の支援まで丁寧に行える体制を整備している等の団体